

がんばろう
熊本

震災救援活動

ニュースNo.4

2016.4.26 発行

ちどり福祉会
いきいき八田
092-691-5089

救援活動の「輪」広がる。 業者さんの協力あり、支援物資の配送すすむ。

熊本地震支援活動へ、全国から多くの支援物資が到着していることはすでにご報告のとおりですが、24日(日)にいきいき八田・箱崎に消耗品関係を納品いただいているマルセンさんの泉さんのご協力で、坂本の里一灯苑(八代市)へ多量の支援物資を配送しました。おかげさまで週末までに集まった支援物資のほとんどを現地へ届けることができました。

泉さんのお話では多くの物資を載せている関係で高速走行できないため、全て地道での運行だったそうです。地震による影響で道路の舗装状態が悪く、段差や亀裂に用心しながら運転されたとのこと。無事役目を果たしていただき、まことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



一灯苑にて(21老福連HPより)

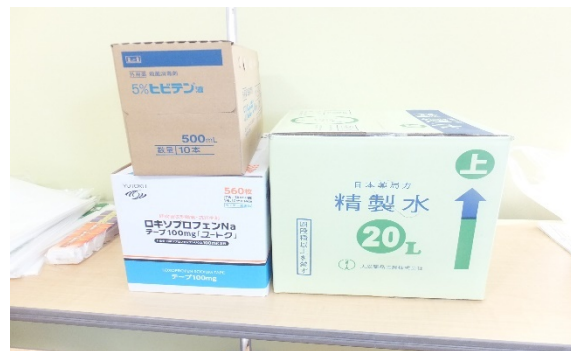


株式会社マルセン 泉さん

福岡保険企画より消毒剤等の協力いただきました

坂本の里一灯苑より依頼のあったヒビテン、ロキソプロフェン、精製水を福岡保険企画が支援物資として提供してくれました。

現地では日を追うごとに物資の不足が発生してきており、衛生材料等も思うようにならない状況のようです。利用者の健康管理に大いに役立ったのではないかと思います。



坂本の里一灯苑へ届けられた衛生材料

◆今後の支援活動は?◆

21老福連加盟の施設の協力により、たくまの里・坂本の里一灯苑への支援物資はほぼ全て配送できました。今後の支援活動については、27日(水)大阪で開催される幹事会で論議されるということです。一方、本日付のしんぶん赤旗1面に全日本民医連のボランティア活動の記事が掲載されていました。震災関連死等の健康被害を防ぐため取り組んでいる様子が、写真入りで紹介されていました。また、日本介護支援専門員協会からケアマネボランティアの募集も開始されました。やがて「復旧」から「復興」の段階に入ります。多様な支援活動が求められつつあります。